

1. 屋外の鉱石を動力により破砕する作業における
粉じんばく露濃度測定調査報告について
平成25年度～厚生労働科学研究 研究代表者 名古屋俊士

調査の目的

「屋外の鉱物等を動力により破砕する作業」に係る粉じん暴露リスク調査を行う。

調査の概要

○調査対象作業

鉱物を動力により破砕し、粉碎し、又はふるい分ける場所における作業を屋外において手持ち削岩機等を用いて鉱物等の小割りする作業(=鉱物の小割り作業)

○調査場所

鉱物の小割り作業を行っている2事業場

○調査方法

- ・作業1回につき最低10分以上測定。
- ・調査件数は3件
- ・作業者の肩に粉じん計を固定し、作業者のばく露濃度を測定。

調査結果

作業内容	管理濃度超えの割合
鉱物の小割り作業(A事業場)	100%(2/2件)
鉱物の小割り作業(B事業場)	100%(1/1件)
計	100%(3/3件)

考えられる方針

- 本調査によれば、管理濃度を超える鉱物の小割り作業の割合は100%であり、全ての作業でばく露濃度が管理濃度を上回っていた。
- 鉱物の小割り作業は、外付けフード等の局所排気装置を用いた防じん対策は容易ではないと考えられることから、有効な呼吸用保護具を着用することが適切な措置と考えられる。

図1小割り作業状況(その1)



図2小割り作業状況(その2)



図3作業場全体の作業風景(その3)

